

みえ県議会だより

NO. 162

平成30年
(2018年)
5月1日

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町 13

☎ 059 (224) 2877 ☎ 059 (229) 1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp

🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

📱 <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより



六華苑(桑名市)

平成30年三重県議会定例会 (1月～3月開催分)

平成30年度当初予算や三重県子ども基金条例案などについて議論

子どもたちの未来のための取り組みやスポーツの推進などに関する経費などを盛り込んだ平成30年度一般会計予算や三重県子ども基金条例案、三重県いじめ防止条例案などについて審議し、可決しました。

本号の主な内容

- 1面 本会議での審議結果
代表質問
- 2～3面 一般質問、用語解説、お知らせ
- 4面 「みえ高校生県議会」のご案内
意見書を国に提出
平成29年度三重県議会議員勉強会
三重県議会定例会 主な開催実績 ほか

本会議での審議結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況や、請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

2月定例会議(2月19日、3月22日)

可決した議員提出議案

○三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案

○三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案

○三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案

○三重県議会委員会条例の一部を改正する条例案

可決した議案

予算

○平成30年度三重県一般会計予算

○平成29年度三重県一般会計補正予算(第8号)

ほか 39件

条例

○三重県いじめ防止条例案 ほか 55件

その他議案

○第2次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画の策定について ほか 20件

採択した請願

○核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について

不採択とした請願

○国民健康保険の一元化において、県民生活に配慮しながら、持続可能な国民健康保険制度を設計運営していくことを求めることについて

可決した意見書

○旧優生保護法により強制不妊手術を受けた当事者に対する補償等を求める意見書

○核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書

可決した決議

○2025年国際博覧会の誘致に関する決議

3月会議(3月30日)

可決した条例案

○三重県県税条例等の一部を改正する条例案

代表質問

生活困窮者や子どもの貧困対策について

中村 進一 議員

新政みえ
伊勢市選出



問 「生活困窮者自立支援法」が制定され3年目になりますが、貧困の現状が浮かびあがってきません。社会福祉協議会で話を聞くと、家族や地域のネットワークが壊れており、厳しい環境にある県民の方が多いといえます。また、さまざまな機関と連携し、貧困の連鎖を断ち切る必要があるという強い声もあるとのことですが、そこで、法に基づき県はどのような対応をしているのか。また、貧困の連鎖を断ち切るため、子どもたちにはどのような対策を進めていくのかお聞かせください。

答 法施行後、県所管地域に援や就労準備支援など任意の事業も全て実施し、生活困窮者の包括的な支援を行うとともに、県内全体での体制構築と支援の質の向上にも取り組んでいます。また、生活保護世帯等の子どもを対象とした学習支援事業では、平成30年度から支援対象を新たに高校生世代にも拡充し、学習支援や進路相談等により、貧困の連鎖の防止を一層図ってまいります。



その他の質問事項

○南海トラフ地震等災害対策は万全か

○離島架橋の検討と離島振興について ほか



▲代表質問
(中村進一 議員)

防災・減災対策とインフラ整備について

前野 和美 議員

自民党
津市選出



問 現在、県では自然災害に對し、被害を最小限に抑えるために「三重県防災・減災対策行動計画」や「三重県広域受援計画」の策定が進められていますが、これらの計画の推進に向けた考えを聞かせてください。また、長い海岸線を持つ三重県としては、海岸堤防の整備は非常に重要な課題であり、各地域の特徴にあわせた対策を進めていく必要があります。各地域の海岸堤防の整備をどのような方針で進めていくのかお聞かせください。



災害物資の受け入れ

答 「三重県防災・減災対策行動計画」では、災害に強い三重づくりを目指して、みえ防災・減災センターや津地方気象台、市町、県が連携した「共助」の取り組みの活性化や、農地等の浸水被害防止のための排水機場の整備等に取り組むこととしています。「三重県広域受援計画」では、大規模災害に備えて、人的・物的支援を円滑に受け入れる体制の構築を目指します。また、海岸堤防の整備については、堤防の沈下や崩壊の防止、嵩上げ等地域の特性にあわせた対策に取り組んでいます。

その他の質問事項

○平成30年度の当初予算編成について

○国宝に指定された高田本山専修寺を生かした観光振興 ほか



▲代表質問
(前野和美 議員)

一般質問

土砂問題について

津村 衛 議員
新設みえ
尾鷲市・北牟婁郡選出

問

県外から紀北町に大量の建設残土が運びこまれる事案が起きています。住民の中には残土中に有害物質が含まれていた、土砂が流出したりするのではないかと不安に感じる方々がいます。熊野古道を活用した集客に取り組み方からは景観が損なわれることが残念との意見も聞いています。そこで、紀北町も含め県内で問題となつている事案と県の対応状況についてお聞きします。

答

県内では土砂の堆積等により住民の健康や生活環境に影響が生じている新たな事案は確認されていません。また、廃棄物混じりの事案については、廃棄物処理法に基づく指導等を行っています。紀北町の事案でも安全性の確認を行うほか、許可可の審査、指導監督を行っており、関係部局が連携し、対応を行っています。



その他の質問事項
○知事の政治姿勢について
○がん検診受診率の向上について



▲一般質問 (津村 衛 議員)

若者の投票率向上に向けて

木津 直樹 議員
自民党
伊賀市選出

問

平成27年に公職選挙法が改正され選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、他の年代と比べて若年層の投票率が低い水準にあります。これから三重県を担う若者の政治参加、とりわけ選挙の投票率の向上を進めていかなければならないと考えますが、選挙管理委員会の見解、取り組みをお聞かせください。



答

県選挙管理委員会では、常時啓発として、学校と協力した啓発を重視し、高等学校において出前授業などの学習支援を実施しています。また、大学祭などで若者と連携した啓発を行っています。さらに、選挙時啓発として、SNSを活用した情報発信や若者が集まる場所での街頭啓発など、若者の目線に合わせた取り組みを進めています。

その他の質問事項
○伊賀米を対象にした農業のスマート化
○伊賀地域の道路交通網及び鉄道の整備 ほか



▲一般質問 (木津直樹 議員)

平成30年度予算と厳しい財政運営について

奥野 英介 議員
鷹山
伊勢市選出

問

平成30年度当初予算においては、引き続き厳しい財政状況の中、「県債管理基金への積立の見送り」と「企業庁からの借入金返済期間の変更」といった二つの財源不足対策を実施することで県民サービスの低下を回避しながら必要な事業費を確保されました。そこで、これらの財源不足対策による今後の財政運営への影響等について聞かせてください。

答

県債管理基金への積み立ての見送りにより、直ちに県債の償還が困難となることはありませんが、「三重県財政の健全化に向けた集中取組」で取り組むとしている公債費や総人件費の抑制等を着実に進め、歳出構造を改善させていく中で、後年度に改めて積み立てる必要があります。また、企業庁からの借入金の返済期間の変更については、企業庁としても、どのような影響があるのか慎重に検討した上で受け入れていただいたものと聞いています。



その他の質問事項
○運動部活動について
○少人数指導の効果と検証について



▲一般質問 (奥野英介 議員)

骨髄ドナー助成制度の導入について

今井 智広 議員
公明党
津市選出

問

骨髄ドナー登録の対象者は18歳から54歳までと範囲が狭く、移植が可能の方でも休暇取得が困難なことや収入減を理由に移植できないことがあるため、県は提供できる環境づくりを進めていく必要があります。そこで、ドナー登録の普及を進めるため、県内5市で実施されているドナーやドナーの勤務先への助成制度の導入を検討すべきと考えますが、いかがですか。



骨髄バンクの説明をする職員

答

県では、骨髄ドナー登録者数が増えるよう普及啓発に努めており、大学での登録会や保健所窓口でのドナー登録受付など、骨髄ドナー登録の推進に取り組んでいるところです。骨髄ドナー助成制度については、県として引き続き他県等の制度の導入状況やその効果を注視し、前向きに検討を行っていきたいと考えています。

その他の質問事項
○献血の推進について
○県民参加のスポーツ振興について



▲一般質問 (今井智広 議員)

教職員の働き方改革の推進について

後藤 健一 議員
新設みえ
松阪市選出

問

教育の新たな施策や改革に取り組むには教職員が健康で意欲的に教育活動を行うことが大切であり、目先の対応だけではなく三重の教育の前進はありません。「働き方改革調査特別委員会」の報告にある意識改革や、働き方改革をどのように進めていくのかお聞きします。また、教育現場で対応する事項が増える想定される新学習指導要領への対応についても聞かせてください。

答

全ての公立学校で「会議時間の短縮」等の統一した項目に取り組み総勤務時間縮減を図るとともに、教職員の意識改革を進めるため、働き方改革の必要性等を観点とした「ネットDE研修」講座を作成・提供します。また、新学習指導要領については、教員が不安なく円滑に授業ができるよう、研修等必要な支援を実施します。



その他の質問事項
○がん対策の推進について
○「松木瀬海岸の干潟」等の貴重な自然環境の継承について



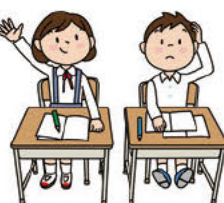
▲一般質問 (後藤健一 議員)

キャリア教育について

石田 成生 議員
自民党
四日市市選出

問

新学習指導要領の中に「何ができるようになるか」とあります。自己満足ではなく、社会にとつて、企業にとつて求められる何かができるような人材を育てることが大事であると考えますが、県教育委員会では高校での進学や就職などを指導する際のキャリア教育について、どのような考え方で行っているのかお聞かせください。



答

生徒が、学びが社会へつながることを実感するとともに、学ぶこと・働くことの意義や大切さを理解できるよう、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進しています。今後も学校教育全体を通してキャリア教育を推進しながら、生徒が目的意識を持って進路を選択し、社会の一員として貢献していける力を育んでいきます。

その他の質問事項
○防災対策の県・市・四日市港管理組合の連携について
○非行政書士対策について



▲一般質問 (石田成生 議員)

みえの出会い支援事業について

日沖 正信 議員
新設みえ
いなべ市・員弁郡選出

問

少子化対策を進めていくにはまず、結婚を希望する人達が結婚でき、家庭を持つことができるようにすることが不可欠です。県では、「みえの出会い支援事業」に取り組んでおり、今年度、結婚や出産、子育て、働き方に関する大規模な調査が行われました。この結果を踏まえ策定する「みえの出会い支援等実施計画(仮称)」において、どのような取り組みを行うのかお聞きします。

答

県では調査結果をもとに、「みえの出会い支援等実施計画(仮称)」を策定し、企業・団体等を通じて情報提供ルートの多様化や、市町や企業・団体等のイベントの企画立案や広報の支援、事業所との連携強化等に取り組んでいます。また、調査結果を市町や企業・団体等の自主的な取り組みにつなげていきます。



その他の質問事項
○鳥獣害対策について
○小学校での英語授業の導入について



▲一般質問 (日沖正信 議員)

観光振興における①インバウンドの取り組みについて

山本 教和 議員
自民党
志摩市選出



問 今年、イタリア客船「コスタネオロマ



コスタネオロマが寄港したときの様子

ンチカ」が四日市港に入港し話題となりました。乗客約1500人のうち320人が外国人でありました。今後も外国客船の入港が予定される中で、大事なものはいかに乗船客に魅力的なプランを提案できるかにあると考えます。県は受け入れ体制の充実に向け、今後、市町や関係団体とどのような取り組みをされるのかお聞きします。

答 クルーズ船寄港のチャンスを生かすため、オール三重での継続的な受け入れ体制づくりを進めることが重要です。県としては客船誘致団体や市町等と受け入れ体制の充実・強化に向けた協議会を設立する予定です。また、その地域にしかない魅力を生かした体験プログラムについて、旅行会社等へ提案していきたいと考えています。

その他の質問事項
○知事の訪中と日中関係について
○介護人材確保について

ほか



▲一般質問 (山本教和 議員)

広葉樹の森づくりを

吉川 新 議員
新政みえ
度会郡選出



問 材木価格が低位のまま、全国の住宅着工数も現在の90万戸から2025年には62万戸になる見込みで、今までのスギやヒノキを軸とする林業政策だけでは「儲かる林業」に程遠いと思います。大台町の宮川森林組合では「広葉樹の森づくり」として、長期の森の姿を設計し、木を木材としてだけでなく、薬や食料など収益を伴うように活用しています。このよう試みに対する県の考えをお聞きします。

答 大台町は、樹種約500種類が自生する自然豊かな地域としてユネスコエコパークに登録され、広葉樹を活用したアロマオイルや燻製用チップなどの商品開発を進めています。県ではこうした新たな視点による多様な林業の必要性も認識しており、「三重の森林づくり基本計画」の改定において、検討してまいります。



広葉樹を活用した取り組み

その他の質問事項
○スマート農業について
○クラウドファンディングについて

ほか



▲一般質問 (吉川 新 議員)

三重とこわか国体について

中森 博文 議員
自民党
名張市選出



問 昨年開催された愛媛国体の本県の男女総合順位は目標の10位台に届きませんでした。この原因は東京オリンピックに向け、東京都にアスリートが集まっていること、一因と考えられ、危機感を持って取り組む必要があると考えます。そこで、少年種別における優秀な指導者の養成およびアスリートの県内定着に向けた取り組みについて、県の考えをお聞かせください。



チーム三重(2017愛媛国体)

答 来年度はチームみえ・コーチアカデミーセンター事業を開始し、一流の指導者を養成します。これらの指導者のもと、素質あるジュニア・少年選手を確実に成長させるとともに、県内に優れたアスリートを定着させることで、三重とこわか国体での活躍の後も、三重の競技スポーツを担う人材を継続して育みます。こうした取り組みは関係団体等と連携して進めていきます。

その他の質問事項
○国道368号4車線化事業の進捗状況について
○県道上野名張線の進捗状況について

ほか



▲一般質問 (中森博文 議員)

観光戦略の充実を

前田 剛志 議員
新政みえ
津市選出



問 ボッチャのアジア・オセアニア国際大会が3月に伊勢市で開催されるなど、今後、多くの大規模なスポーツ大会が県内で開催されます。来県される多くの方々には三重の良さを知っていただき、リピーターとなってもらえるようなおもてなしの心での対応が肝要です。そこで、サミットの「レガシー」を生かし、関係団体等と連携し参加者等へのPR等をすべきと考えますが、県の観光誘客戦略をお聞かせください。

答 大規模大会は三重の魅力を知っていただく絶好の機会となります。目前に控えたインターハイでは、大会前に高校生が薦めるモデルコース等の情報を、大会中には地元高校生イチ押し「スライツ」等の情報を三重県観光連盟のホームページ等で紹介するなど、オール三重で県内周遊の促進に取り組めます。



平成30年度全国高等学校総合体育大会 総合ポスター

その他の質問事項
○三重とこわか国体の成功を例の導入を

ほか



▲一般質問 (前田剛志 議員)

用語解説

1 インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のことを指します。日本へのインバウンドとは、訪日外国人旅行または訪日旅行のことをいいます。

2 ユネスコエコパーク

生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的として、自然に学ぶとともに、文化的にも社会的にも持続可能な発展をめざす地域を認定する制度です。

3 スマート農業

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して省力・高品質生産を実現する新たな農業のことです。

4 クラウドファンディング

特定のプロジェクトを実施するため

に、主としてインターネットを通じて不特定多数の人から資金調達する仕組みのことです。

5 レガシー

レガシーとは、「遺産」や「受け継いだもの」を意味する単語です。三重県では、知名度等の向上など伊勢志摩サミットの開催により地域にもたらされた有形無形の好影響を「サミットのレガシー」と位置付け、そのレガシーを三重の未来に生かすために「人と事業を呼び込む」等のポストサミットの具体的な取り組みを展開しています。

6 公契約条例

地方自治体の事業を受託した業者に雇用される労働者の賃金を含む労働条件の改善を規定した条例のことです。

お知らせ

政務活動費について

議会経費縮減のため、三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正し、現在、政務活動費を条例本則に規定する額から20％特例的に減額している取り扱いを平成31年4月29日まで継続することとしました。

請願と陳情の受付

県に対して意見や要望がある場合、どなたでも県議会に請願や陳情を提出できます。

請願

請願は、議員の紹介を受けて提出できます。県議会では、提出された請願を所管の委員会や議案と同様に審査し、実現する必要があると採択した場合、国に意見書を提出したり、県政に反映させるよう執行機関に働きかけたりします。

陳情

陳情は、議員の紹介がなくても提出できます。提出された陳情は、とりまとめられたうえ、全議員に配付されます。※手続きなど詳細は、三重県議会事務局までお問い合わせください。

A photograph showing the interior of a library. There are several rows of wooden bookshelves filled with books. In the foreground, there is a small circular wooden table with a few items on it, including a blue bag and some papers. The lighting is warm and the atmosphere is quiet.

次回の発行は、平成30年(2018年)7月1日(日)です。
(新聞折り込みは、7月1日(日)に行います。)